



四日市の翔（京本政樹）

どこから来たのか誰も知らない。
人呼んで「四日市の翔」。
必殺技は「独楽」と「手ぬぐいぐるぐる巻き」。
映像には登場しなかったが、四日市市の花サルビアも武器になる。撮影現場は必ず晴れるらしい。



妖怪（こにゅうどうくん）

ちよっぴり寂しがり屋で人を驚かすことが大好きな妖怪の男の子。
パパは「首が伸びたら日本一」日本で一番背の高いカラクリ人形「大入道（おにゅうどう）」。こにゅうどうくんも「ゆるい」キャラクター日本一を目指してがんばっている。首は伸びない。舌が伸びる。



町娘（風谷南友）

四日市で暮らす美しい町娘。こにゅうどうくんに気に入られすぎて困っているところを、四日市の翔に助けられ、心惹かれる。



こにゅうどうくん



四日市の翔

エキストラ・サポーター登録は無料です。▼詳しくはホームページをご覧ください。

よっかいちフィルムコミッション 検索 <http://yokkaichi-fc.jp>

▼ロケ地・マップ製作についてのお問合せ 他はこちら



よっかいちフィルムコミッション

TEL:059-357-0382 〒510-0075 三重県四日市市安島1丁目1-56（四日市観光協会内） E-mail info@yokkaichi-fc.jp

本ロケ地マップを営利目的で第三者へ転売することを固く禁じます（直接販売・インターネットオークション等での販売も含む）

YOKKAICHI FILM COMMISSION



必見
四日市

監督・出演・音楽：京本政樹／企画・制作：四日市市



東海道43番目の宿場町
「四日市」を訪れた
四日市の翔。
町娘を追いかける
怪しい奴と遭遇！

四日市宿にて

四日市市立博物館・プラネタリウム

撮影に使われた町並みは、すべて原寸大再現。「四日市市立博物館」にある常設展「時空街道」です。古代から近世まで、時空をおさんぽ気分でする事ができます。また、併設の「四日市公害と環境未来館」では環境学習のため海外からも見学者が訪れています。

また、プラネタリウム「GINGA PORT 401」では工場夜景を放映し、ここにゆうどうくんと四日市の翔が対決するシーンも撮影されました。



住 四日市市安島1-3-16 そらんぼ四日市
近鉄四日市駅から徒歩3分
JR四日市駅から徒歩20分
時 9:30~17:00 (入館16:30まで)
休 月 (祝日の場合は翌平日)、年末年始、
館内整備のため臨時休館あり

☎ 059-355-2700
四日市市立博物館常設展(時空街道)と
四日市公害と環境未来館常設展(入館無料)、
展示会(別料金)・プラネタリウム(一般540円、
高・大生380円、小・中生210円、幼児無料)



四日市名物
「萬古焼」の急須で
「かぶせ茶」を楽しむ
四日市の翔

屋敷にて

伝七郎(国登録有形文化財)



住 四日市市高砂町6番12号 伝七郎「神楽」
近鉄四日市駅から徒歩20分 JR四日市駅から徒歩10分
ランチ 11:30~14:00 / ディナー 17:00~21:00
(一部のランチメニューのみ予約不要) 見学は10:00~17:00

☎ 水曜日
☎ 059-351-2491
☎ http://100year-club.jp

時空街道「四日市宿」

時空街道に再現された「東海道四日市宿」は、まるで映画のセットみたい。京本監督もすっかりスイッチがはいっちゃったよん！この施設、実は大手映画会社のスタッフがつくったんだって。すごいでしょ。



朝になったり夜になったりするよん

世界一のプラネタリウム

憧れの「必殺！」ワザで、ボクは手ぬぐいぐるむの刑になったよん。現場は世界最多の1億4000万個以上の星々を放映するケイロン401があるプラネタリウムだよん。「最も多くの星を放映するプラネタリウム」として、世界一に認定されているんだ。



世界一のプラネタリウムでアクションシーンを撮影したよ

四日市萬古焼

四日市名物「萬古焼」の急須で「かぶせ茶」を楽しむワンシーン。お庭もきれいでこのままお茶のCMになりそうだよん！鉄分いっぱい萬古焼の急須は、お茶の味をまろやかにするんだって。京本監督も萬古焼の「茶器セット」をゲットして帰ったよん。



萬古焼とかぶせ茶



四日市萬古焼(しすいあん)

水の豊かな四日市は古来より「泗水」(三泗地区)と呼ばれ、伊勢茶や酒の産地として知られていました。泗水庵は日本古来の伝統文化(茶道・句会等)に親しむことができる場として建てられた施設です。いつでも立礼席(りゅうれいせき)を楽しめるほか、撮影に使われた庭・小間の見学も随時受け付けております。

住 四日市市鶴の森一丁目13-17
近鉄四日市駅から徒歩5分
JR四日市駅から徒歩20分
立礼席 10:00~16:00 (入席15:40まで)
休 月 (祝日の場合は翌平日)、年末年始
☎ 059-352-4960
立礼席一服400円(お菓子・抹茶付)



四日市に来たら、森に囲まれた癒しスポット泗水庵がおすすめだよん。椅子席の「立礼席(りゅうれいせき)」はお年寄りや外国の方にも人気なんだ。お菓子は市内4軒の和菓子店から「お取り寄せ」。毎月4のつく日「4日・14日・24日」は、四日市産の抹茶をご賞味いただけるよん。



遊んでほしくてたまらない
こにゅうどうくん、
町娘と入ろうとした茶室には
先客が!!

茶室にて



四日市あすなろう鉄道

「四日市あすなろう鉄道」の内部・八王子線は、大正時代から走る古い路線で、全国でも3社線しかない線路幅762mm(特殊狭軌線)のナローゲージの鉄道として全国の鉄道ファンから愛されています。四日市の通勤・通学の足として東海道沿いをコトコト走っています。撮影に使われた「日永駅」は特殊狭軌線である3社線のうち唯一2路線に分岐しており、線路が「YOKKAICHI」の頭文字であるYの字になっています。



日本一の分かれ道 日永の追分

四日市あすなろう鉄道は東海道に沿って走っているので歴史散策がおすすめです。一生に一度はお伊勢参りの伊勢街道、四日市がスタート地点だっけ知ってた？四日市あすなろう鉄道「追分駅」のそばには東海道と伊勢街道の分かれ道「日永の追分」があるよん。ここにある鳥居を通過して旅人たちは伊勢神宮に向かったんだって。とっても賑やかだったんだ。



日永の追分



コンビナート夜景

ラストシーンで撮影されたコンビナート夜景は、第一コンビナートと呼ばれる一帯。四日市は「工場夜景の聖地」と呼ばれており、工場夜景の撮影スポットが数多くあります。陸上、海上、展望台など様々な夜景が撮影できるため、写真愛好家が数多く訪れています。撮影時は雷が鳴っていて、映像にはイナズマが映っています。



夜景スポット「うみてらす14」

誰もが一度は見えてみたい四日市の工場夜景。ボクのおすすめ撮影スポットは、四日市港ポートビルの展示展示室「うみてらす14」からの夜景だよん。土・日・祝日は夜間開館をしていて、遠くまで広がる工場夜景を一望できて、日本夜景遺産にも認定されているんだ。



四日市港ポートビル「うみてらす14」からの夜景



四日市港ポートビル(高さ100m)

住 四日市市市二丁目1-1
近鉄四日市駅から徒歩15分
JR四日市駅から徒歩20分
10:00~17:00 (土日祝日は21:00時まで) (入館は閉館30分前まで)
※夜間開館日は閉館10分前に室内のライトダウンを実施しています。
休 水曜日 (祝日の場合は開館)、年末年始

☎ 059-366-7022
一般(高校生以上)300円、中学生以下 無料
団体(20名様以上)一般(高校生以上)240円
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちのご本人と介護者1名は入場料免除。

コンビナートにて

コンビナートをバックに立ちまわる四日市の翔